

10 大船市街地域 地域別方針

目標における網掛け部分と具体的な取り組みにおける太字部分は平成16年度に追加・修正した部分です。
また★印は重点的に取り組む内容です。



まちづくりの基本的考え方

- 新しい鎌倉の顔として、これからの文化を創造するまちづくり。
- 交通結節点である駅を中心とした、一体的なまちづくり。

目標

目標①

まちの発展を支える
道路や公共輸送機関
の充実

①大船駅周辺の道路の交通容量を増やし、
東海道本線・横須賀線・柏尾川で分
断された道路網を強化する

②楽しく歩ける歩行者・自転車のネット
ワークを形成する

③公共交通の利便性を向上させる

★ 目標②

市民・企業・大学・
行政の協働による魅
力にぎわいのある
まちづくり

①市民生活と強く結びついた商工業の
活性化を図る

②芸術文化・教育機能の育成を図る

③住工や住商の混在地は、秩序ある土地
利用の誘導を図る

④職住近接の実現による人口の誘導と
定住化を図る

目標③

安全で快適な市街地
整備と都市環境の整
備

①近接市区も含めた広域的な拠点として
大船駅周辺の整備を進める

②安全で快適な生活のための整備を進め
る

③人にやさしい福祉のまちづくりを進め
る

具体的な取り組み

- ★腰越大船線（跨線橋の架け替え等）の整備促進
- 広域と結ぶ横浜鎌倉線、由比ガ浜関谷線（小袋谷～山崎）、原宿六浦線の整備
- 横浜市側の道路整備と連携した小袋谷空間線の拡幅整備
- 鎌倉地域と結ぶ鎌倉街道（横浜鎌倉線、雪ノ下大船線）の拡幅・整備
- 小袋谷藤沢線、田園路切道の歩道整備
- 大船停車場谷戸前線の延伸
- 鎌倉地域と結ぶ由比ガ浜関谷線の再検討※
- 玉縄地域と結ぶ新規の道路を横浜市と連携しながら検討

- 歩道の拡幅、段差の解消、電線の地中化など生活道路の環境改善
- 大船駅、芸術館間を都市軸とした歩行者空間の整備（松竹通り、芸術館通りなど）
- 大船駅東西連絡通路等の整備
- 砂押川、梅田川などの川沿いのプロムナード整備
- 仲通の魅力の演出
- 歩行者用道しるべの設置
- ★駐輪場の確保など、自転車利用環境の向上

- 深夜バスやミニバスなどのバスサービスの充実

- ★大船駅前は公共公益施設、住宅、交流型商業拠点として整備（大船駅東口再開発事業の推進）
- 大船駅周辺は回遊性・仲通との一体性を高めた魅力的な商業環境を創出
- 仲通商店街は従来の雰囲気を受け継いだ整備・活性化
- 大工場周辺の緑化の推進、企業施設の地域開放
- 商工業を支える道路交通環境の整備
- 商業イベントのためのオープンスペースの確保

- 大学と地域が連携したまちづくりの推進
- 芸術や企業文化などの発信・育成
- 交流機能などの立地誘導

- 密集市街地の計画的改善
- 住宅と工業の環境整備
- 高度な産業機能の育成
- 生活型商業地の育成・支援

- 都市型住宅地の形成
- 戸建住宅地における住環境の保全
- 一般住宅地における基盤整備を伴う住環境の改善

- 大船観音～大船駅～芸術館を都市軸として整備
- 駅前広場（東口・西口・北口）の整備、新設
- デッキなどによる歩車道分離と歩行者のための回遊空間の確保
- 駅周辺における公的施設（社会教育施設など）の導入を視野に入れた、複合開発の誘導

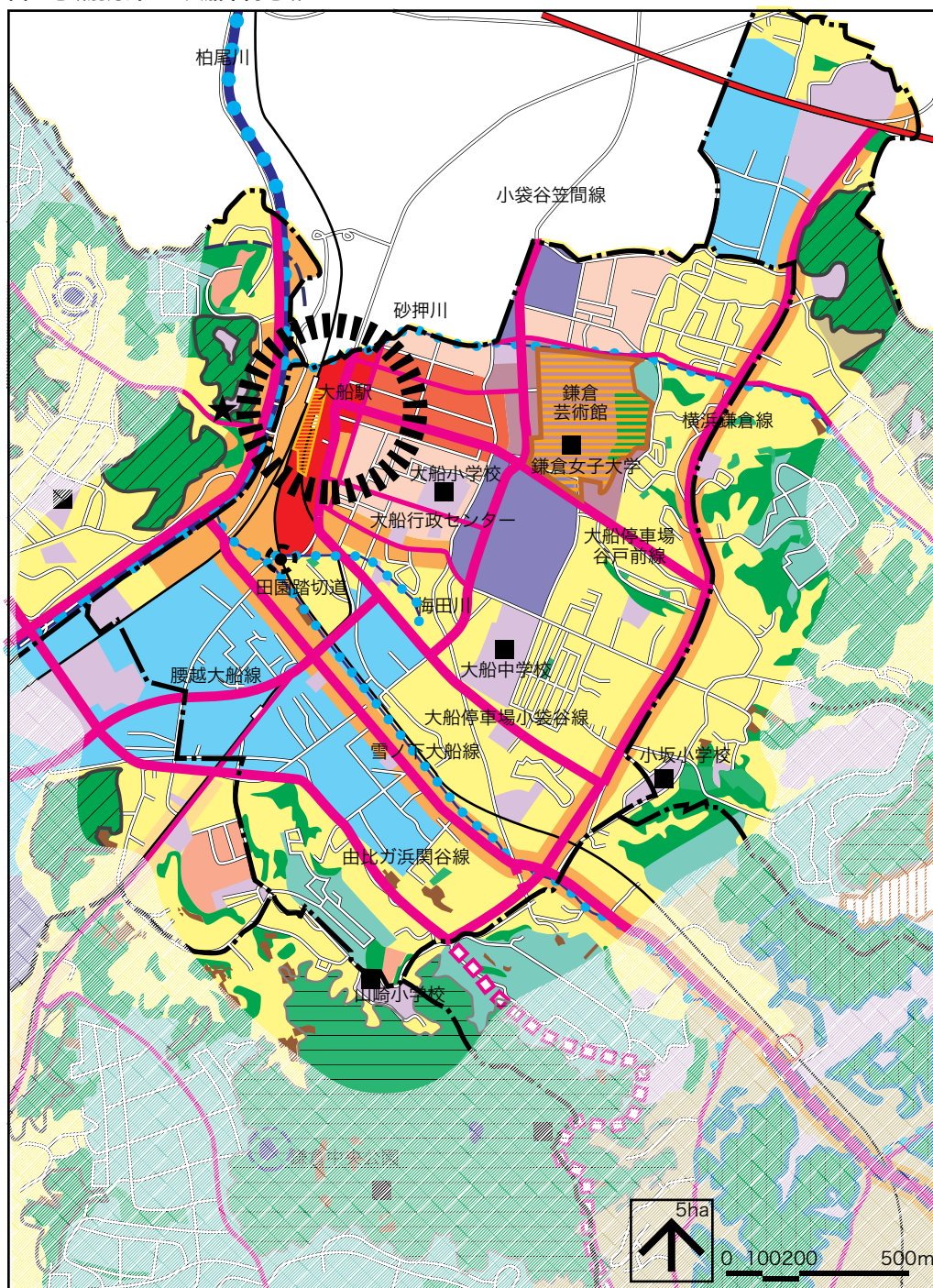
- ★駐車場の整備誘導
- ★駐輪場の整備や駐車場案内システムの設置

- 河川の自然回復と環境保全・親水化
- 自然水系の保全活用
- 身近な緑の保全・創出
- 身近な公園・広場・ポケットパーク等の整備
- 地域の防災拠点・防災体制の整備
- 安全な河川の整備

- 大船駅及び周辺でのバリアフリー化の推進
- 交通弱者に安全な道路づくり
- 交通弱者にやさしい道しるべ計画

※由比ガ浜関谷線は交通体系整備の観点からは必要だと考えていますが、今後は市民意見や環境に配慮した整備手法などを考慮しながら再検討を行っていきます。

図 地域別方針……大船市街地域



- | | | |
|---------------------------------|----------------|--------------------------------|
| 古都保存法以外の法による緑の保全 | 大船駅前商業地の魅力づくり | 公共公益施設等(開放・緑化等) |
| 身近な緑の保全 | 地区計画による再開発 | 地域間を結ぶ主要道路の整備・改善 |
| 都市公園等の緑の保全・創出 | 駅周辺商店街のまち並み形成 | 生活道路の環境改善(歩道の拡幅、段差の解消、電線の地中化等) |
| 河川の自然回復と環境保全・親水化(砂押川プロムナードの整備等) | 生活型商業地の育成 | 田園踏切道の整備 |
| 一般住宅地における良好な住環境の育成 | 高度な産業施設の育成 | 大船駅周辺拠点としての整備 |
| 計画的に開発された住環境の保全 | 住工混在の環境整備 | 地域の防災やコミュニティ拠点の整備 |
| 都市型住宅地の形成 | 文化機能の育成 | 生産緑地地区 |
| 中・高層住宅地の住環境の保全 | 地区計画による文教環境の保全 | |

1. 地域の特徴

- 大船駅周辺では、通り沿いやルミネウイングなどにおいて商業集積が進み、日用品や食料品の買い物客でにぎわいを見せています。また、大船市街地周辺に立地する県立大船高校、栄光学園、清泉女学院に加えて、近年では鎌倉女子大学が開校するなど、学生の街としても様変わりしつつあります。
- 東部には三菱電機や資生堂などの企業及び鎌倉芸術館や文化・教育施設があり、南部には中小の工場が点在しているなど、商業、工業、文化・教育、住居等の多様な土地利用がされています。

2. 主な動向と取り組み

地域別の方針（本編 166 ページ）に掲げる 3 つの目標についての主な動向と取り組みは次のとおりです。

目標 ①

まちの発展を支える道路や公共輸送機関の充実

- 砂押川沿いにプロムナードを整備しました（整備済延長 = 390m）。
- 大船・ドリームランド線の再開については、既に関係事業者が断念しています（H14.8）。

目標 ②

魅力ある商工業の発展と定住・にぎわい人口の拡大

- 松竹大船撮影所跡地に鎌倉女子大学が開校しました。そのほかにも従来からの学校教育施設が多く、学生街としてのにぎわいが期待されます。
- 鎌倉女子大学及び隣接する鎌倉芸術館周辺地区については、地区計画（11.2ha、H13.11）を定めるとともに、景観形成地区を指定し、景観づくりのルールを策定しました（20ha、H14.4）。

目標 ③

安全で快適な市街地整備と都市環境の整備

- JR 大船駅北口の開設が予定されるとともに、横浜市側で大規模な高層共同住宅の建設が行われました。
- 大船駅東口第一種市街地再開発事業においては、第 1 地区で地区計画を定める（1ha、H14.8）とともに、第 2 地区についての新基本構想を確定しました（H15.8）。この新基本構想では、仲通商店街から連続する第 2・第 3 街区は中低層の建物で商業施設等を、線路側の第 1 街区には高層の建物で商業施設、公共公益施設、住宅を配置するという方向性を示しています。
- 大船駅周辺地区整備連絡協議会において、「大船駅周辺地区都市づくり基本計画（案）」（H8.2 策定）の見直しを行いました（H15.1）。

3. 重点的に取り組む内容

松竹大船撮影所跡地への鎌倉女子大学の開校や大船駅北口開設など、大船駅周辺において大きな状況変化があり、都市拠点にふさわしい環境整備を推進することが重要です。

重点

1) 「市民・企業・大学・行政」協働のまちづくり

- 鎌倉女子大学などの学校教育関係者、資生堂や三菱電機などの企業、商業者、市民が連携した「市民・企業・大学・行政」の4者の協働によるまちづくりを推進します。

重点

2) 市街地整備に合わせた商業機能の充実

- 大船駅周辺では、市街地再開発事業等の実施に合わせ、地域密着型の商業拠点の充実を図るとともに、人々が回遊できる歩行者空間の整備を図ります。

重点

3) まち並みに配慮した駐車場の誘導・整備、駐輪場の整備

- 大船市街地には土地利用変更が容易なコイン駐車場が増えていますが、都市基盤整備の動向を踏まえた駐車場の整備を検討するとともに、まち並みを適切に維持するための手法について検討していきます。
- 駅周辺での放置自転車対策として、駐輪場のさらなる整備を進めるとともに、放置しにくい環境づくりを行っていきます。

重点

4) 大船駅東口第一種市街地再開発事業（第2地区）の推進

- 大船駅東口第一種市街地再開発事業（第2地区）の新基本構想に基づき、今後、都市計画の変更を行い、事業を進めていきます。

重点

5) 腰越大船線の整備

- 大船停車場小袋谷線までの整備を行うとともに、小袋谷跨線橋の架け替え工事を行い、大船地域の慢性的な交通渋滞解消及び歩行者の安全を図ります。

ソフト面の取り組み

- 横浜市との連携

検討課題

- 横須賀線の地下化